

業 務 説 明 資 料

1 業務件名

横浜音祭り 2019 メインビジュアル制作業務委託

2 業務の実施方針

- (1) 「横浜音祭り」は3年に一度、横浜で開催されるオールジャンルの音楽フェスティバルで、2019年秋頃に第3回目が開催される。

前回「横浜音祭り 2016」には、456 のプログラムに、延べ 623 万人が参加した。横浜市内全域が音楽に溢れ、音楽に興味がある・ないに関わらず、多くの人々にとって「音との新たな出会い」のきっかけとなるような、日本最大級の音楽祭となった。

本業務では、横浜市民及び来街者を対象に、音楽フェスティバル「横浜音祭り 2019」(【別紙1】「開催概要」参照) の認知を高め、興味・関心を向上させるような、独自性・視認性に優れ、印象的かつ洗練された、フェスティバルのメインビジュアルデザインを制作する。

- (2) 今回のメインビジュアルデザインの主なターゲットは、「30 歳代～40 歳代の女性」とする。ただし、フェスティバル自体は、様々なターゲットが対象のプログラムがあるため、世代・性別等に関係なく、広く受け入れられるデザインを意識する。
- (3) ユニバーサルデザインを意識し、幅広い世代に受け入れられる文字 (フォント・サイズ)、デザイン、レイアウト等で制作する。
- (4) 今回のメインビジュアルが、その他の各公演ポスターやグッズ、公式ウェブサイト等の広報制作物の共通トーンの基本となるため、フェスティバル全体として統一感のあるデザイン・レイアウトで制作する。
- (5) 横浜の都市ブランドイメージの向上につながるよう意識する。

3 履行期限

契約締結日から平成 31 年 3 月 29 日 (金) まで

4 履行場所

横浜アーツフェスティバル実行委員会 (以下、「実行委員会」という。) が指定する場所

5 業務内容

実行委員会が主催する音楽フェスティバル「横浜音祭り 2019」を象徴するメインビジュアルのデザイン制作及び同フェスティバルのチラシ用フォーマットを制作する。(今回制作するデザインを使用した広報制作物の展開スケジュールについては、【別紙2】「広報計画表」参照)

(1) メインビジュアル

横浜音祭り 2019 に係る、①フェスティバルイメージ訴求デザイン②具体的コンテンツ訴求デザインの2種類のビジュアルを制作する。

ア 版 型 B1（縦型）サイズ
イ 印 刷 片面印刷
ウ カ ラ ー 4色（特色使用不可）
エ 種 類 2種

① フェスティバルイメージ訴求デザイン

- ・横浜音祭り 2019 のフェスティバルが有する全体イメージを伝え、横浜で3年に一度開催される日本最大級の音楽フェスティバルであることを印象付けるもの。
- ・シンプルで、視認性に優れるもの。
- ・通期で、様々な内容のプログラム会場でも使用できる、汎用性の高いもの。
- ・ポスターのほか、フェスティバルガイドブックの表紙や、市内各地に掲出される屋外広告物（街頭フラッグ、懸垂幕、横断幕、バックパネル等）、公式ウェブサイト等にも展開できるもの。また、PR用ビニール袋（【別紙3】「芸術アクション事業PR用ビニール袋について」参照）のように、単色刷り（青色系を想定）での展開もしやすいもの。
- ・横浜音祭り 2019 の魅力を「来場者側の目線で」表現するような、簡潔・端的なキャッチコピー（【別紙4】「メインビジュアル文字原稿について」参照）を作成し、入れること。ただし、キャッチコピーについては、実行委員会と協議の上、変更を行うことがあるものとする。

② 具体的コンテンツ訴求デザイン

- ・平成31年4月実施予定の開催概要発表記者会見以降、各コンテンツの券売期間中に、横浜音祭り 2019 の具体的コンテンツを分かりやすく視覚的に伝えるもの。
- ・横浜音祭り 2019 の規模感や話題性を強く訴求できるもの。
- ・上記「フェスティバルイメージ訴求デザイン」とトーン&マナーを合わせ、統一感のあるもの。

オ 文字原稿 【別紙4】「メインビジュアル文字原稿について」のとおり

カ 画 像

① フェスティバルイメージ訴求デザイン

- ・実行委員会が提供する「横浜音祭り」ロゴマーク（【別紙5】「横浜音祭りロゴ使用マニュアル」参照）を必ず使用すること。

② 具体的コンテンツ訴求デザイン

- ・実行委員会が提供する「横浜音祭り」ロゴマーク（【別紙5】「横浜音祭りロゴ使用マニュアル」参照）を必ず使用すること。
- ・実行委員会が提供する写真を使用することができる。
- ・使用する写真によっては、指定されたクレジットを付記すること。
- ・写真のトリミング・加工は可とする。

キ そ の 他

- ・「横浜音祭り」ロゴマークに使用しているシアン色・青色をイメージカラーと意識して制作すること。
- ・文字については、視認性の低いタイポグラフィー等を極力避け、他の広報制作物などでもトーンを合わせやすい、汎用性の高いフォントを使用するよう努めること。

- ・B1 ポスターとして印刷時に、協賛企業ロゴマーク等を掲載するため、最下部から W728×H45mm の余白を確保すること。

(2) チラシ用フォーマット

実行委員会が主催する各公演のチラシに統一的に刷り込む、フェスティバルを紹介するフォーマットのデザイン・レイアウトを制作する。

- ア 規 格 W210×H72mm (A4 判チラシの最下部に配置)
- イ 印 刷 片面印刷
- ウ カ ラ ー ①4色 (特色使用不可)、②モノクロ
- エ 種 類 2種 (同じデザインで、4色・モノクロ刷りの2種を制作すること)
- オ 文字原稿 【別紙6】「フォーマット文字原稿について」のとおり
- カ そ の 他

- ・実行委員会が提供する「横浜音祭り」ロゴマーク (【別紙5】「横浜音祭りロゴ使用マニュアル」参照) を必ず使用すること。
- ・(1)エ①の「フェスティバルイメージ訴求デザイン」とトーンを合わせること。

6 履行にあたっての条件

- (1) DTP ソフトは、Illustrator CS6 に対応し、CMYK モードを使用して制作すること。
- (2) 制作にあたっては、著作権、個人情報に関する法令等のルールを遵守すること。
- (3) 実行委員会が提供する原稿、写真、イラスト等は、使用後速やかに返却すること。

7 成果品について

(1) 提出物・提出方法

メインビジュアル及びチラシ用フォーマットのデザインデータ (AI 形式、PDF 形式)
DVD-R 2部

(2) 提出期限

平成 31 年 2 月 1 日 (金)

提出後、実行委員会から修正要求をする場合がある。修正案の提出期限はその都度指示する。

(3) 提出場所

横浜アーツフェスティバル実行委員会事務局 (横浜市文化観光局文化プログラム推進課内)
〒231-0015 横浜市中区尾上町 1-8 関内新井ビル 6 階
電話 045-671-3682 / FAX 045-663-1928

8 留意事項

- (1) 本業務の実施に際しては、実行委員会と十分な協議を行いながら進めることとし、本業務説明資料に記載のない事項及び疑義のある場合は、別途協議の上、決定するものとする。

- (2) 本業務の検討内容及び進行状況等について、実行委員会が報告等を求めた場合、特段の理由なくこれを拒んではならない。また、実行委員会が公表している又は実行委員会が認めた情報以外の情報を第三者に漏らしてはならない。
- (3) 受託者は、本業務におけるデザインについて、商標登録等がされていないオリジナルのものであること及び第三者の著作権等を侵害するものではないことを保証するものとする。万が一、第三者から権利侵害の訴え等が生じたときは、受託者は自己の責任においてこれを解決するものとする。
- (4) 本業務の全部を第三者に委任し、又は請け負わせることは認めない。また、本業務の一部を第三者に委任し、又は請け負わせようとするときは、あらかじめ実行委員会の承諾を得なければならない。
- (5) 本業務の成果物に係る使用権及び著作権（著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 21 条から第 28 条までに規定する権利をいう）は、写真・イラスト等を含め、全て実行委員会に帰属し、受託者はその成果を自ら利用し、又は第三者に帰属してはならない。また、実行委員会が二次利用を含めて、これを自由に使用できるものとする。これにより受託者に生じた、いかなる損害についても実行委員会は責任を負わないものとする。
- (6) 受託後の印刷業務は実行委員会が発注する。なお、印刷用紙は実行委員会と協議の上、決定するものとする。

【業務説明資料・別紙1】

横浜音祭り2019 開催概要

横浜市は、「文化芸術創造都市」として、現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」、ダンスフェスティバル「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA」、音楽フェスティバル「横浜音祭り」といった横浜らしい特色のある芸術フェスティバルを毎年順番に開催し、街に賑わいを創出している。

2019年は、ラグビーワールドカップ2019™及び東京2020オリンピック・パラリンピックを視野に入れ、3回目となる音楽フェスティバル「横浜音祭り2019（仮称）※」を開催予定である。

※平成31年度予算が横浜市会において議決された後、フェスティバル名が確定する。提案にあたっては、「横浜音祭り2019」を使用すること。

本音楽フェスティバルの開催概要は以下のとおり。

(1) 名 称

横浜音祭り2019

（読み方：ヨコハマオトマツリ ニセンジュウキュウ）

(2) 実施期間

平成31（2019）年9月15日（日）から11月15日（金）（予定）※

※4月下旬情報解禁（予定）。

(3) 会 場

横浜市内全域

(4) ジャンル

クラシック、ジャズ、ポップス、日本伝統音楽などオールジャンル

(5) 主な特徴

ア. 横浜“発”、横浜“初”。オリジナルコンテンツを世界に発信

トップアーティストによる新たなチャレンジ、異なる音楽ジャンルのコラボレーションや、アートや映画など音楽以外の分野との組み合わせなど、創造的なコンテンツを横浜から発信します。

イ. 舞台は横浜の「街」そのもの。街じゅうが音楽空間

好きな音楽を、好きな場所で。音楽ホールでの公演だけでなく、横浜の景観を活かしたオープンスペースでのコンサートや市民の皆さんに身近な施設でのプログラムを実施します。

ウ. あらゆる人に音楽の楽しみを。クリエイティブ・インクルージョン

音楽のジャンルはもちろん、国籍、ジェンダー、世代や障害の有無を超えて、さまざまな方が参加でき、楽しめるフェスティバルを展開します。

エ. 音楽との出会いが、子どもたちを待っている。クリエイティブ・チルドレン

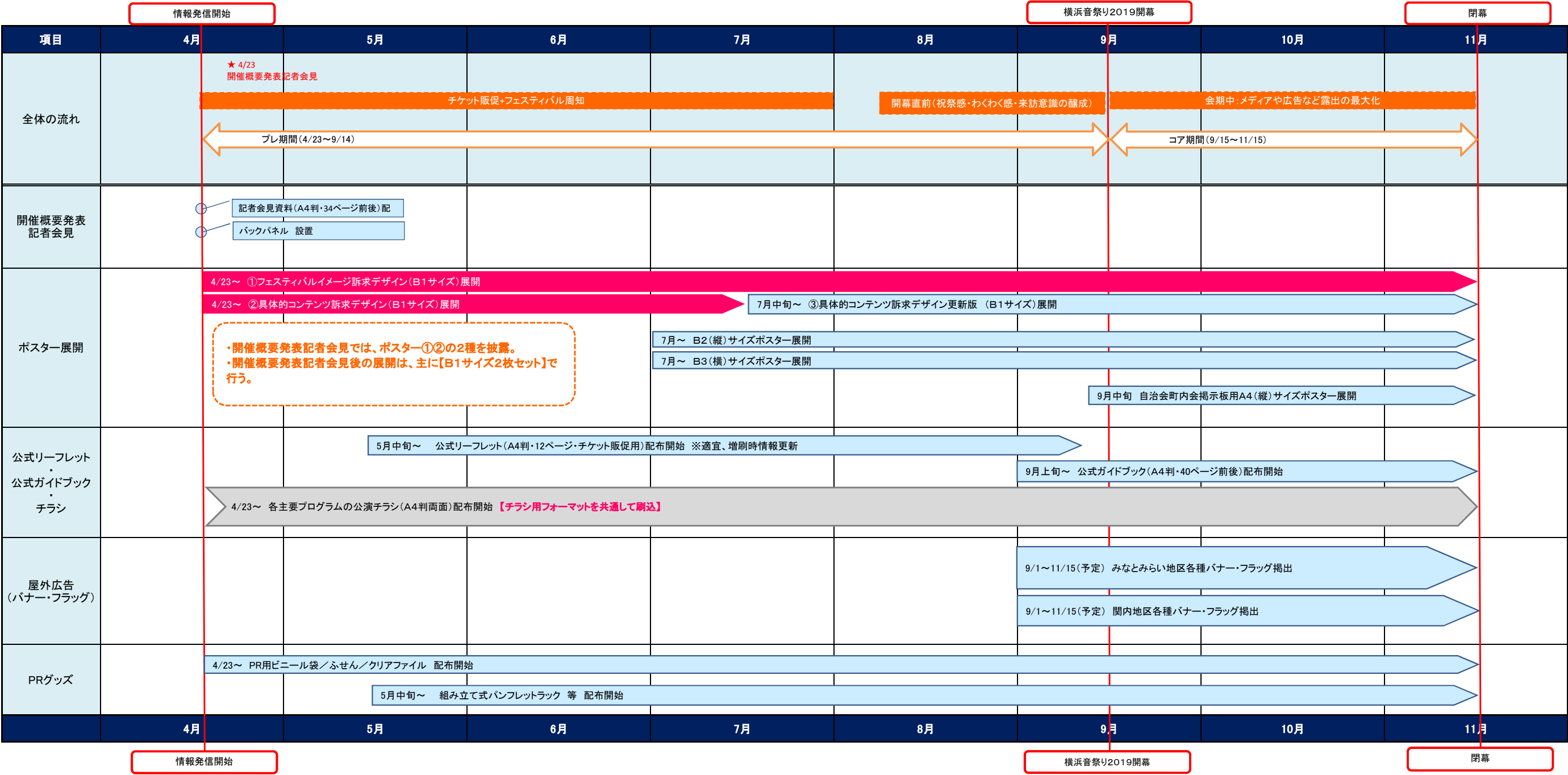
学校への出張コンサートや、普段なかなか接する機会のないプロアーティストに直接技術を学ぶワークショップなどを実施し、横浜の未来を担う子どもたちの豊かな創造性や感受性を育みます。

※参考：横浜音祭り2016実績

開催期間	2016年9月22日（木・祝）～11月27日（日）＜67日間＞
会 場	横浜市内全域
プログラム数	456 プログラム（うち主催 65、共催 109、パートナー282）
総来場者数	約 623 万人
URL	https://yokooto.jp/
事業報告書	https://yokooto.jp/2016report_ebook/

横浜音祭り2019 広報計画表(予定)

- (1) 今後の主な制作物と展開期間を帯で記載しています。(デザイン制作期間は含みません。)
(2) 現在検討中のものも含まれるため、今後変更となる可能性があります。
(3) ピンク色の部分が、今回の「横浜音祭り2019 メインビジュアル制作業務委託」で発注する制作物です。
(4) 青色は、メインビジュアルを使用する予定の制作物です。



【業務説明資料・別紙3】芸術アクション事業 PR 用ビニール袋について

参考：

① 横浜音祭り 2016 PR 用ビニール袋



② Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2018 PR 用ビニール袋



<仕様>

ア 生地色：乳白色

イ サイズ：厚0.08×W250×H400mm

ウ 印刷面：両面

エ 印刷色：1色（DIC184／横浜音祭り2016）

オ 部数：83,000部

【業務説明資料・別紙４】

メインビジュアル文字原稿について

メインビジュアル（２種）を制作する際、必ず記載する文言は以下のとおり。

文言の変更（日本語表記を英語表記にする、またはその逆等）を行うことはできない。

なお、文字サイズ（強弱）や文言の追加は自由に行うことができる。

分類	記載する文言
タイトル	横浜音祭り ２０１９
会期	2019. 9. 15 (Sun) - 11. 15 (Fri)
要素	３年に１度の音楽の祭典
キャッチコピー	※下記「キャッチコピーについて」を参照し作成すること
主催	主催：横浜アーツフェスティバル実行委員会
会場	会場：横浜市内全域
検索窓	ヨコオト

※キャッチコピーについて

横浜音祭り ２０１９の魅力を「来場者側の目線で」表現するような、簡潔・端的なキャッチコピーを作成する。

- ・シンプルで分かりやすいコピーとすること。特にメインビジュアルデザインの主なターゲット層以外の高齢者や学生など、どんな人にも理解しやすい言葉を使用すること。
- ・あらゆる人に音楽の楽しさを届けるという「インクルージョン」の視点を意識すること。

（参考）写真等の使用について

	ロゴマークの 使用	提供写真の 使用	イメージ画像の 使用	イラストの 使用
フェスティバルイメージ 訴求デザイン	○	×	○	○
具体的コンテンツ 訴求デザイン	○	○	△※	△※

※具体的コンテンツ訴求デザインに関して、人物については、実行委員会が提供する写真以外のイメージ画像やイラストを使用することはできない。

なお、人物以外については、イメージ画像やイラストを使用することができる。



Logotype design manual

横浜音祭り ログタイプデザインマニュアル



YOKOHAMA OTOMATSURI

世界中の音楽の潮流が横浜に渦集し、大きな渦を形成していく。
また、その渦は新たな潮流となり世界に拡散する。・・・横浜を新たな音楽文化のハブとして
イメージし、プレイヤー、オーディエンス、サポーターがボーダーレスに交わるイベントの
シンボルとしてデザインしました。

プロポーション規定



最小使用サイズは左右30mmです。

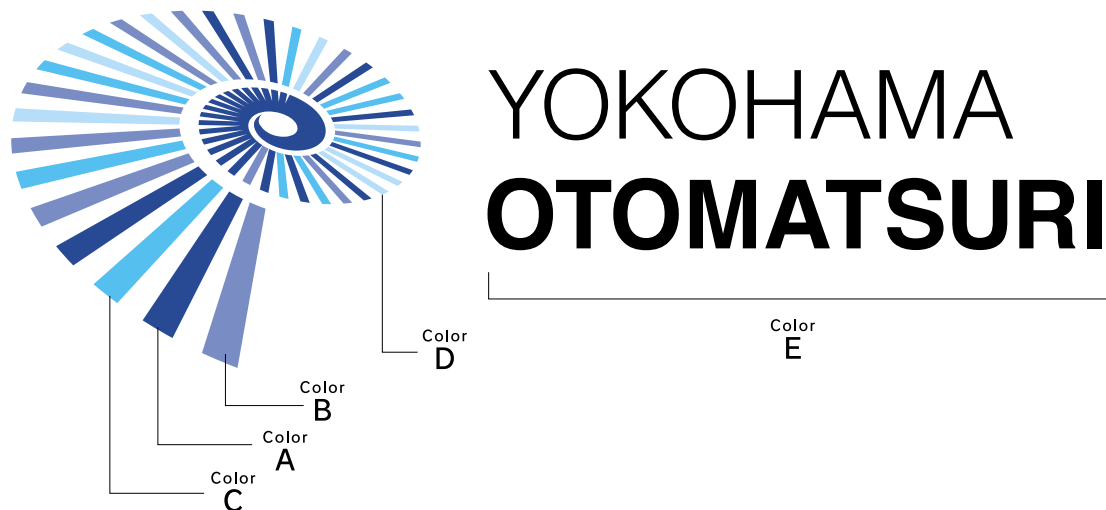


アイソレーションエリア

ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。



カラー規定



YOKOHAMA
OTOMATSURI

CMYK color

Color A	Color B	Color C	Color D	Color E
C 100 M 75 Y 0 K 10	C 70 M 45 Y 0 K 0	C 75 M 0 Y 0 K 0	C 40 M 0 Y 0 K 0	C 15 M 20 Y 20 K 100

PANTONE color

Color A	Color B	Color C	Color D	Color E
661C	659C	306C	2905C	Black6C

DIC color

Color A	Color B	Color C	Color D	Color E
DIC184	DIC142	DIC99	DIC2181	DIC582

RGB color

Color A	Color B	Color C	Color D	Color E
R 0 G 0 B 153	R 102 G 102 B 204	R 30 G 220 B 240	R 167 G 230 B 255	R 0 G 0 B 0

ロゴをカラーで表示する場合は、アイソレーションエリアを確保した上で、**背景色は必ず「白」**としてください。



※他社のインクを使用する場合にはDICカラーチップもしくはPANTONEカラーチップを参考に最も近い色を調合・選択してください。

カラー規定

デザイン上、ロゴの背景を白に出来ない場合は、背景の濃度に応じてスミベタ、もしくは白ヌキで表現することが出来ます。
アイソレーションエリア内は、複数の色や濃淡のある背景にしないでください。 ※使用サイズはマニュアル02に準じてください。

濃度=10%



濃度=50%



濃度=90%



濃度=20%



濃度=60%



濃度=100%



濃度=30%



濃度=70%



背景比較用チャート※=スミベタ/白ヌキ ※矢印の指す方が適正です。



濃度=40%



濃度=80%



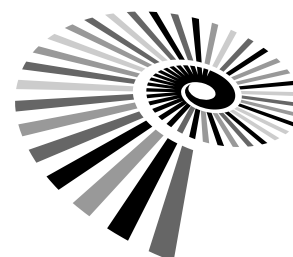
※矢印が両方を指している場合はスミベタ・白ヌキどちらも選択できます。
※比較用のチャートです。この様に背景を色分けすることは出来ません。

カラー規定

新聞広告など、モノクロの印刷で使用する場合の規定です。



YOKOHAMA
OTOMATSURI



YOKOHAMA
OTOMATSURI

ロゴをモノクロで表示する場合も、アイソレーションエリアを確保した上で、**背景色は必ず「白」**としてください。

モノクロの原稿で、デザイン上背景を白に出来ない場合は、カラーの規定同様、スミベタまたは白ヌキで表現することが可能です。(マニュアル05参照)

CMYK color

Color A	Color B	Color C	Color D	Color E
C 100 M 75 Y 0 K 10	C 70 M 45 Y 0 K 0	C 75 M 0 Y 0 K 0	C 40 M 0 Y 0 K 0	C 15 M 20 Y 20 K 100

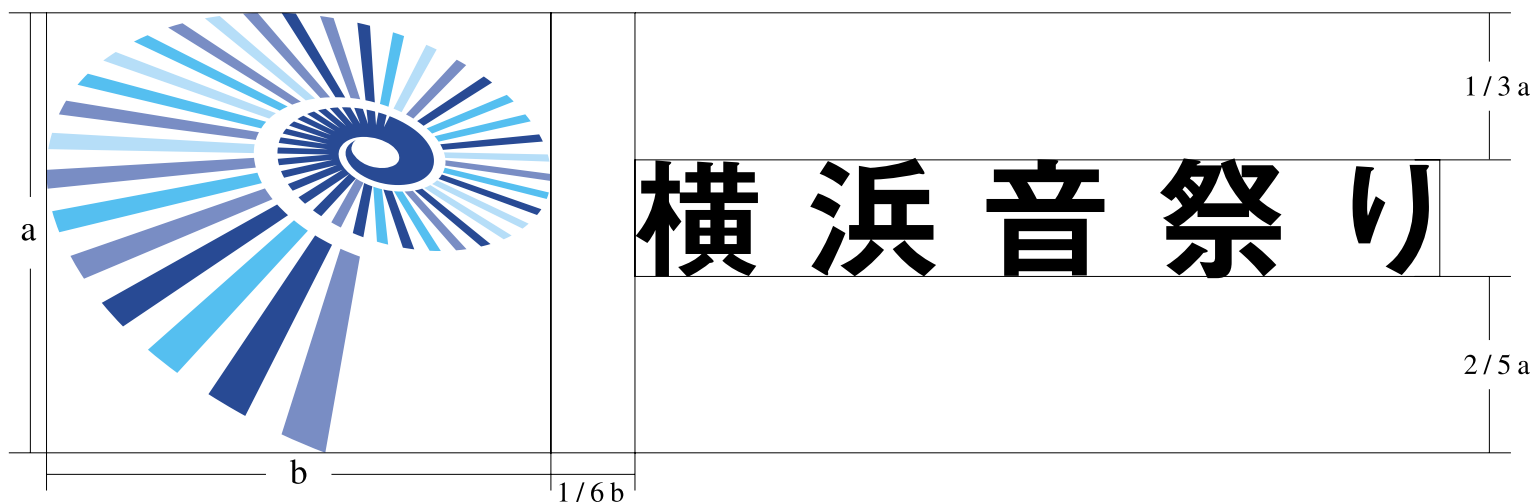


Monochrome color

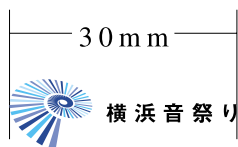
Color A	Color B	Color C	Color D	Color E
K 100	K 60	K 40	K 20	K 100



プロポーショナル規定



最小使用サイズは左右30mmです。



アイソレーションエリア

ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。





最小使用サイズは上下20mmです。



アイソレーションエリア

ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、
他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。



※カラー規定はマニュアル04.05.06に準じてください。



横浜音祭り

最小使用サイズは上下20mmです。



アイソレーションエリア

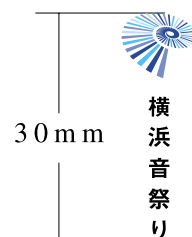
ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、
他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。





横浜音祭り

最小使用サイズは上下30mmです。



アイソレーションエリア

ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、
他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。





YOKOHAMA
OTOMATSURI

横浜音祭り

最小使用サイズは左右65mmです。



アイソレーションエリア

ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、
他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。



※カラー規定はマニュアル04.05.06に準じてください。



最小使用サイズは左右35mmです。



アイソレーションエリア

ロゴの周囲には以下に規定した余白スペースを確保し、
他のデザイン要素をこの範囲に配置することは出来ません。



※カラー規定はマニュアル04.05.06に準じてください。

フォーマット文字原稿について

チラシ用フォーマットを制作する際、必ず記載する文言は以下のとおり。

文言の変更（日本語表記を英語表記にする、またはその逆等）を行うことはできない。

なお、文字サイズ（強弱）や文言の追加は自由に行うことができる。

[illegible]